

秋田の土地改良



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

みどり
水土里ネット秋田

目次

農と地域の未来を担うー全国土地改良大会秋田大会ー	2
あきた 食料・環境・ふるさとを考える地球人フォーラム2008	7
秋田県中山間ふるさと水と土現地見学会	8
平成20年度換地計画作成・農地連坦化促進研修会	9
水土里ネット活動報告(雄物川筋)	11
平成20年度第1回秋田県農村総合整備センター研修会	13
土地改良関係団体役員講習会(日程)	15
要請活動を実施(東北農業農村整備推進協議会)	15
連合会日誌	16
会員だより	16
第11回写真コンクール・入賞作品決定	17
支部からの水土里通信(秋田支部)	19
インフォメーション	20

◆発行所/秋田県土地改良事業団体連合会 〒010-0967 秋田市高陽幸町3番37号
TEL .018-888-2750(代) FAX .018-888-2834 <http://homepage2.nifty.com/akidoren/>





●開催県あいさつ

高畑進 秋田県土地改良事業団体連合会会長



●主催者あいさつ

野中広務 全国土地改良事業団体連合会会長

後世に引き継ごう「水、土、里」

平成20年10月14日、第31回全国土地改良大会秋田大会が秋晴れのもと、「あすを拓く大地、きらめく疏水、たくましき郷」をテーマに秋田市の秋田県立武道館で開催されました。

大会式典には、全国の土地改良関係者ら約3,900人が参加し、「『大地』『疏水』『郷』を国民共有の財産として私たち水土里ネットが守り、育み、伝承していく」とした大会宣言を採択いたしました。

秋田県では初めての全国土地改良大会の開催となりましたが、大会を契機に改めて農と地域の未来を担う「水・土・里」を良好な状態で次世代に引き継いでまいりたいと考えております。

第31回全国土地改良大会 秋田大会

大会式典

日時 2008年10月14日
会場 秋田県立武道館



● 歓迎のことば

秋田県知事 寺田典城 氏



● 来賓祝辞

農林水産副大臣 近藤基彦 氏



● 土地改良事業功績者表彰

農林水産大臣表彰 (5名)
農林水産省農村振興局長表彰 (16名)
全国土地改良事業団体連合会長表彰 (48名)



● 大会宣言

秋田県立大学 生物資源科学部
アグリビジネス学科3年生
進藤暁さん/成田望美さん



● 大会旗引継ぎ

次回開催の島根県への大会旗の引継ぎ



● 竿燈アトラクション

「竿燈」の実演による歓迎アトラクション



● パネルブース

農業に関する展示コーナー



● 物産ブース

秋田の特産やお土産品の数々

第31回全国土地改良大会 秋田大会

交歓会

日時 2008年10月14日
会場 秋田キャッスルホテル



交歓会 歓迎レセプション

当日、大会式典に引き続き、秋田市内のホテルに於いて、県内外招待者の全国土地改良大会への参加を歓迎し、懇親を深める場として交歓会（歓迎レセプション）を開催いたしました。

● 歓迎アトラクション

安藤兄弟・浅野梅若社中・ダンスアベニュー スタジオS



● 鏡開き

関係者による鏡開き(乾杯を行う西村秋田県副知事)



● 開催県あいさつ

高畑進 秋田県土地改良事業団体連合会会長



● 祝宴

交歓会は、秋田の食材をふんだんに使った秋田ならではの料理、とれたての新米によるおにぎり、美味しい地酒の数々がテーブルに並び、歓迎アトラクションを交えながら、和やかに開催されました。



● あいさつ

全国土地改良事業団体連合会顧問 参議院議員 佐藤昭郎 氏



● 中締め

秋田市議会議員 加賀谷正美 氏





事業視察

県内の歴史・文化に触れて

10月15～16日の二日間は、5コースに分かれて事業視察が行われ、21世紀最大の農業土木工事と言われ、20年の歳月をかけ湖底から生まれ変わった八郎潟干拓地を含め、県北地方、県南地方の美しい風土や食文化などにも触れていただき、秋田ならではの土地改良施設、文化・歴史、自然の風景、秋たけなわの食を存分に堪能していただけたことと思います。

A 北秋田・鹿角 1泊2日 コース

神秘の湖 十和田湖と日本最古の芝居小屋を訪ねて



「大太鼓の里」(北秋田市)



農事組合法人立花ファーム(大館市)



明治の芝居小屋「康楽館」(小坂町)



綴子地区ほ場整備(北秋田市)

B 大潟・男鹿 1泊2日 コース

干拓地大潟村となまはげの里を訪ねて



南部排水機場(大潟村)



大潟村干拓博物館(大潟村)



滝の頭湧水(男鹿市)



国営造成土地改良施設整備事業・F2取水口(大潟村)

C 由利・雄勝 1泊2日

紅葉の鳥海山と小町の郷を訪ねて



皆瀬頭首工(横手市)



小滝温水路(にかほ市)



小町堂(湯沢市)



鳥海山

D 平鹿・仙北 1泊2日

伝説の湖 田沢湖とみちのくの小京都角館を訪ねて



池田氏庭園(大仙市)



田沢湖



十五野地区ハウス団地組合(横手市)



秋田銘酒の蔵元(大仙市)

E 大 潟 日帰り

干拓地大潟村を訪ねて



秋田県農林水産技術センター農業試験場(秋田市)



大潟村干拓博物館(大潟村)



国営総合農地防災事業 男鹿東部二期地区(防湖水門)

『水』を視点に、大地を潤す豊かな水と水源地域の関わりを考える！

— あきた食料・環境・ふるさとを考える地球人フォーラム2008 —

■「共に語り考える 水土里の水源」

9月7日(日)、あきた 食料・環境・ふるさとを考える地球人会議(会長・高畑進水土里ネット秋田会長)が主催する『フォーラム』が、秋田市文化会館・小ホール(秋田市)で開催された。地球人会議設立から毎年開催し、10回目となるフォーラムは「共に語り考える 水土里の水源」をテーマに、「秋田県中山間ふるさと水と土フォーラム」(秋田県主催)、水土里ネット秋田との合同開催として行われ、県内各地から一般市民など約350名が参加した。



はじめに高畑会長が開会の挨拶を行い、引き続き、「秋田県21創造運動表彰式」や「水土里の活動報告」として21創造運動受賞の水土里ネットによる活動報告、中山間ふるさと水と土活動報告、小学生によるわくわく探訪・感想文発表のほか、黒崎一紀さんによる雄物川の水と環境保全に関する取り組みが紹介された。



基調講演には、秋田の清冽な水で育った秋田市出身の浅利香津代さん(女優)が登場し、自身のふるさと秋田に寄せる想いや、高校まで過ご

した地元秋田の思い出、女優として活躍している今でもふるさと“あきた”に対する想いを、時には笑いや秋田弁を交えながら、厚くユーモアたっぷりに語っていただいた。故郷「あきた」をもっと元気にしたいという熱い思いがこもったメッセージを頂いたように感じた。



また、オール秋田弁による「あきた・トーク」では、コーディネーターにあゆかわのぼるさん(詩人)、トークゲストとして浅利香津代さん(女優)、大石清美さん(イラストレーター)、黒崎一紀さん(FM椿台代表取締役)を迎え、「あきたの水と食」をテーマにしたトークが展開された。出演者は、普段の生活から何気なく感じている水と食の疑問や提言を交えながら、水の大切さ、秋田の食の素晴らしさ、水土里の重要性などを軽妙な秋田弁で語り、秋田の水と食の関わりを強くアピールし、観客の関心を誘っていた。



地球人会議では、今後も広く一般県民や子供たちに「農業・農村」や「水」「土」「里」に対する理解と関心を持っていただけるよう、共に考え、共に学び、共に行動する活動を実施して行くこととしている。

古代のロマンに思いをはせながら巡る

～ 広大な仙北の自然と歴史と文化 ～

「2008秋田県中山間ふるさと水と土現地見学会」を開催

秋田の中山間地域の農業や資源・魅力について広く県民の方々に関心をもってもらい、農地や土地改良施設の保全・利活用に係わる活動への都市住民等の参加促進を目的に、9月6日(土)「2008秋田県中山間ふるさと・水と土現地見学会」を、今年は仙北管内を舞台に開催した。(協力：秋田県七滝土地改良区・美郷町・大仙市、後援：水土里ネット秋田)この現地見学会は、秋田県中山間地域土地改良施設等保全対策事業(通称：ふるさと水と土事業)で毎年開催しているもので、今回が5回目となる。

今回のコースは、六郷湧水群・関田円筒分水工・七滝水源涵養保安林と棚田(旧六郷町)→坂本東嶽邸(旧千畑町)→払田柵跡・池田氏庭園(旧仙北町)→鈴木酒造店(旧中仙町)と設定し、HP等による募集を行い80人の参加者のもとに開催した。現地での案内をすべて地元の方々におこなってもらったことや、管内に多く残っている伝統芸能を現地で披露することで「中山間地の自然と歴史と文化」をじかに感じてもらった。

旧六郷町



◆御台所清水

鷹狩りをした佐竹公が料理用の水として使ったとされる『御台所清水』。湧水を味わう参加者もいました。



◆関田円筒分水工

河川から取水した用水を180の枙(ワ)で均等に配分し、農業用水の合理的配分・安定供給を目的に造成された『関田円筒分水工』。



◆七滝水源涵養保安林

奥羽山系七滝山に251haの広さを有する『七滝水源涵養保安林』。天然のため池機能の説明と下流に広がる棚田を見学しました。

旧千畑町・旧仙北町



◆坂本東嶽邸

地元をこよなく愛し、旧千屋村の発展に尽力した旧貴族院議員の坂本理一郎(東嶽)氏の旧邸宅『坂本東嶽邸』。明治の雰囲気の中で、地元旧仙南村『菖蒲太鼓』の迫力ある演奏を堪能しました。



◆払田柵跡

平安時代の役所跡といわれ、様々な伝説の残る『払田柵跡』。古代のロマンに思いをはせながら、地元の伝統芸能『堀見内ささら』の鑑賞や仙北米を使った『餅つき』の体験をしました。



◆池田氏庭園

庭園としては県内初の国指定名勝となった『池田氏庭園』。重厚な造りの池田氏家紋が彫られた薬医門や県内初の鉄筋コンクリート造りの私設図書館や日本最大級の雪見灯籠などなど、園内にあるもの全てが貴重なもので、みなさんじっくり見入っていました。

旧中仙町



◆秀よし

『秀よし』の銘柄で有名な鈴木酒造店。元禄2年創業で佐竹藩御用酒に優れるとして「秀でてよし→秀よし」が由来だそうです。



◆ドンパン節

中仙といえば「ドンドンパンパン〜…」で全国的に有名なドンパン節。歴史漂う重厚な酒蔵で、ドンパン踊りを鑑賞しました。

現地見学会終了後に参加者から、「この見学会で秋田にもまだまだ見きれていない、いえ、見なければいけない場所が多々あったのだと再認識した。」「もう一度周りを見渡し、考えてみようと思った。」「農山村が失われていくことは人間生活においてとても悲痛なことであることを実感した。なんとしても、この大切な農山村を守っていかねばならないと思った。」等の感想がよせられた。

県では、来年度以降も中山間地域理解の啓発・普及につながる取り組みを実施していくこととしている。

(秋田県農林水産部農山村振興課)

平成20年度換地計画作成・農地連坦化促進研修会

9月8日(月)、水土里ネット秋田が主催する「平成20年度換地計画作成・農地連坦化促進研修会」が秋田県社会福祉会館(秋田市)で開催され、県や市町村、土地改良区などの事業関係者約140名が参加した。

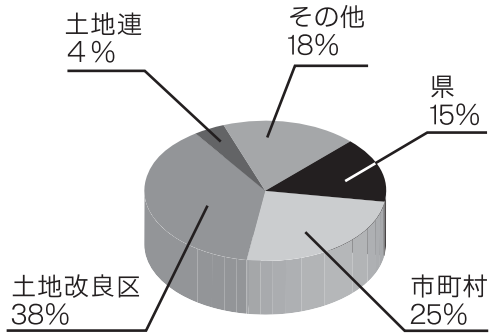
研修会では、県農林水産部や水土里ネット秋田の事業担当職員、秋田県農業公社の戸嶋農業振興部次長などを講師に招き、「経営体育成促進換地等調整事業及び換地計画作成(概要編・実務編)」、「ほ場整備事業をめぐる状況」、「農地の面的集積と保有合理化事業の推進」などに関する講義が行われ、参加者は今後の業務の参考にしようと熱心に講義に聴き入っていた。



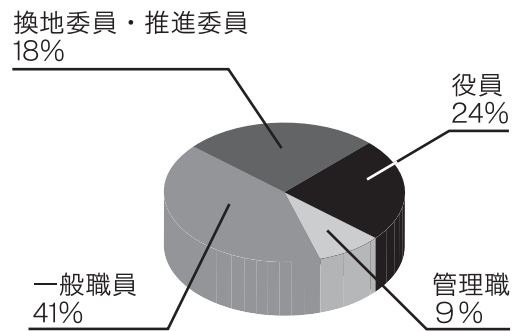
なお、当日参加者に対して行った研修会に関するアンケート調査の主な結果について報告いたします。

換地計画作成・農地連坦化促進研修会アンケート集計表

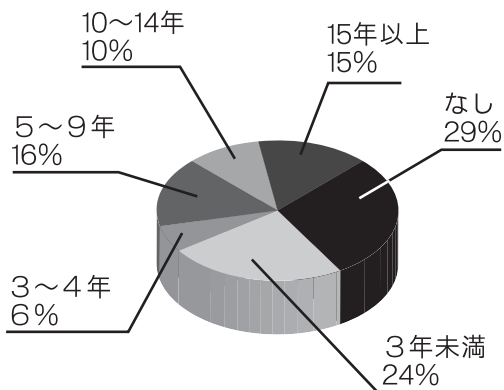
あなたの所属は



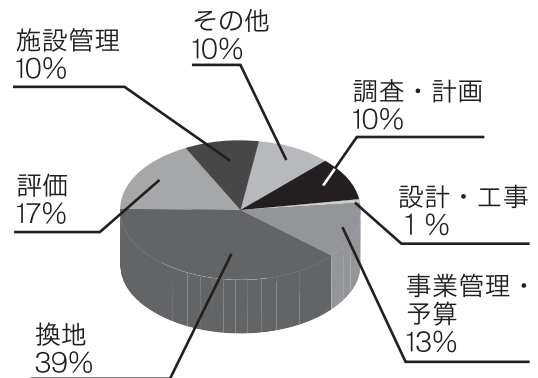
役職



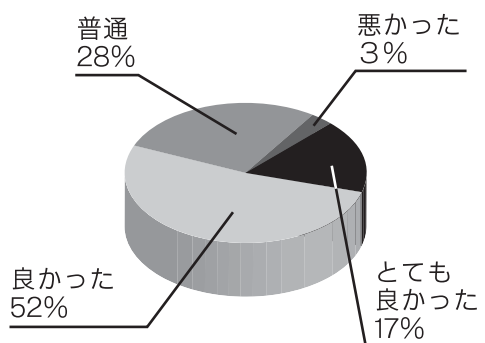
経験年数



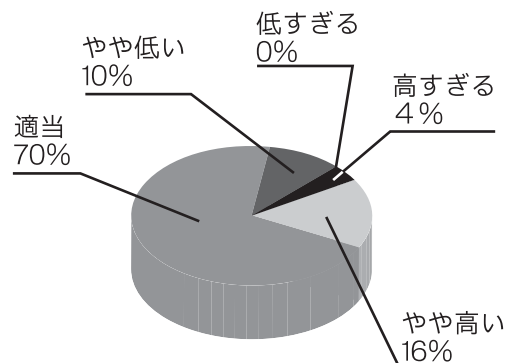
現在携わっている主な業務



研修の感想



研修のレベル



水土里ネット「平鹿平野」農業水利施設研修会 活動報告

—水土里ネット雄物川筋—

国営かんがい排水事業により、改修工事が行われている農業水利施設の現地研修会が、昨年に続き管内の受益者を対象に、平成20年8月1日から8日まで6回にわたり、水土里ネット雄物川筋が主催、東北農政局平鹿平野農業水利事業所共催、管内10ヶ所の水土里ネット、水利調整組合、土地改良管理組合などの協力を得て、延べ237人の参加者により開催された。



8月8日開催 横手市増田地区・湯沢市岩崎地区の参加者



部分改修が予定されている成瀬頭首工

国営平鹿平野農業水利事業は平成13年度着工以来、平成24年度の事業完了に向け着々と工事が行われている。この研修会は現地研修を通して現在の配水形態と事業完了後の水利用計画の違いを認識してもらおうとともに、施設の果たす役割・環境に配慮した事業・現在の農業情勢の変化などについて関心を持ってもらうことを目的としている。

研修地として、今年度で全面改修工事を終える皆瀬頭首工、今年度から部分改修が施工される成瀬頭首工、そして主要分土工や公平な水配分に大きな期待が寄せられる併設型水路(上・下流部専用水路)など10ヶ所の施設となっており、各参加者の関係する施設は勿論、用水系統の違う施設についても十分に理解が得られる行程となっている。

地区ごとに関係水土里ネットが集合場所となり出発。最初の研修地は国道342号線沿いに位置する成瀬頭首工です。今年度から部分改修が行われる予定となっており、ゲート類の改修や新たに魚道が施工されるなどの概要説明に、水系の違う参加者からも積極的な質問があった。

その後、全面改修工事も完成間近で、来年4月からの取水開始に向け大詰めを向かえた皆瀬頭首工へと移動。工事用に造られた仮設栈橋からの研修となり、最新の技術を用いた真新しい頭首工と旧頭首工とを見比べながら、事業所担当官からの概要説明を受けた。参加者からは、河川増水時のラバー堰の対応や、自然の状態に近い構造となっている魚道など、新旧頭首工の違いについてたくさんの質問があった。



皆瀬頭首工建設工事用の仮設栈橋で概要説明



今年度に解体が予定されている旧皆瀬頭首工

また、昭和39年に完成して以来44年間の長きにわたり、基幹水利施設として地域農業を支えてきた旧頭首工が今年度を以て解体される。旧頭首工を眺める参加者の姿に、新頭首工への期待とは裏腹に、一つの時代が終わるような寂しさを感じた。

そして参加者が直接関係する各主要分木工では、特に公平な配水を行うため複雑な構造になっている分木工への関心が高く、ゲートの構造や、どの地区にどの位分水するのかなど質問があった。中には県営水路からの分木工や末端の分木工は知っているが、このような国営水路の大規模な分木工を初めて目にするという方も数多く、水田脇の水路へと水が流れて行く経緯についてもこの期に理解して頂いたと思う。

また、下流地域の水不足解消と公平に水を使用するために改修された併設型水路では、実際に上流部専用・下流部専用の水路を見ることにより、上流部が有利とされる意識を変えられたように感じた。



湯沢市岩崎地区へ分水する岩崎分木工
[皆瀬1号幹線用水路]



皆瀬川の川底をサイホンにより湯沢市岩崎地区へと
通水するM7サイホン[皆瀬7号幹線用水路]



住宅街に位置し、複雑な構造になっている坂下分木工
[皆瀬1号幹線用水路]



上流・下流部専用水路 [皆瀬2号幹線用水路]

国営平鹿平野農業水利事業は平成24年度の事業完了に向け着々と改修が進められ、平成19年度までの工事進捗率が46.6%となっている。

夏の日差しがふりそそぐ中、6日間を振り返り、今回参加して頂いた方々にとって昨今の農業情勢が厳しい中、このような大規模な改修工事が行われていることに驚きを覚えた方もいると思われる。

しかしながら、地域の基幹産業として位置づけられている農業にとって、子々孫々まで受け継がれる大切な施設であり、また、欠かすことのできない大事な事業であることも、この研修会を通し認識して頂いたと思う。



8月5日に開催された、横手・大雄地区の研修会に横手市立十文字中学校2年生5名が職場体験に訪れ、各施設を大人たちと一緒に研修を行った。

平成20年度 第1回『秋田県農村総合整備センター研修会』

7月24～25日、山本郡三種町において平成20年度第1回秋田県農村総合整備センター研修会(共催秋田県農村総合整備研究協議会)が開催され、全県から県、市町村、土地改良区、県土連の職員36名が参加した。

近年、農業農村を取り巻く環境が多様な要因で大きく様変わりしていることから、今回の研修は①農業用水や生活用水にかかる課題や対応 ②農業農村整備事業の今後の展開方向 ③食の安全や食育についてをテーマとし、講師として、東北農政局整備部水利整備課長尾係長、県農林水産部農山村振興課佐藤副主幹、県山本地域振興局農林部佐々木課長、JA秋田やまもと泉課長の4人をお願いした。

講演の概要は次のとおりである。

7月24日(木)室内

◆佐藤 猛 氏(秋田県農林水産部農山村振興課)

演題：「元気で活力のある農業・農村をめざして」

秋田県農業農村整備事業将来構想検討委員会(19年度)で取りまとめた内容を基に、秋田県の農業農村を取り巻く現状の分析やあるべき姿について講演された。

元気で活力ある農業・農村を実現するための視点として (Ⅰ)農業経営 チャレンジする経営体を支援する「ほ場整備」の推進 (Ⅱ)農村地域 水土里(みどり)豊かなふるさと秋田を継承する「県民運動」の展開 (Ⅲ)機能保全 地域と行政の協働による「農業水利ストック」の効率的な保全 (Ⅳ)危機管理 生命と財産を脅かす「危険ため池」の緊急整備の4つを上げ詳細に説明された。

また、平成20年度より、農村総合整備関係団体営事業は「村づくり交付金」に再編統合された。田園空間整備事業、中山間総合整備事業も合わせて新規地区の取り組みをお願いしたい。

◆佐々木義男 氏(山本地域振興局農林部農村整備課)

演題：「山本管内の農林水産業と農業農村整備事業について」

山本管内の農業・農村整備の現状や今後の計画および山本管内の特徴等について講演

- ① 山本管内の耕地面積は全県のほぼ1/10であることから、いろいろな数値指標を県集計の1/10とし、更に上回ることを常に意識して取り組んでいる。
- ② ほ場整備率は全県整備率73%に対して65%となっているが、継続実施地区が完了するH22年度には67%の予定である。今後は未整備地域への事業PRを積極的に行い事業化の推進を図りたい。
- ③ 山本管内は野菜等の出荷額が多く、全国的にもトップクラスの位置を占めているものもある。県内シェアはジュンサイ(99%)、ミョウガ(98%)、山ウド(91%)、キャベツ(80%)、ネギ(73%)等が高い率を示している。
- ④ 農林水産物直売所が大変元気で、全県184店の内、山本管内12店(6%)での19年度売上額は8.5億円で、全県38.1億円の22%を占めている。
- ⑤ 白神山地の恵みを活かす漁業として、岩館漁港では岩ガキの増殖場を造成しており5年後には40t/年の生産増加量を見込んでいる。



❖泉 牧子 氏(J A秋田やまもとふれあい課)

演題：「食卓の向こう側」

「食の安全、安心」が如何に大切であるかについて実験を取り入れながら講演され、J A秋田やまもとが中心になって進めている地産地消活動の一環である学校給食やJ A秋田やまもと敷地内にオープンしたJ Aのコンビニ「J Aコンビニ(ジャンビニ)」等が題材に取り上げられた。受講者の関心度が高い内容であったことから5人の方から質問が出るなど活発な意見交換が行われ、地元企画への講演を申し込む関係者もいた。



❖長尾 貴司 氏(東北農政局整備部水利整備課)

演題：「“水の回廊”の全国展開による潤いある田園空間の再生」について

当日(7月24日午前0時26分頃)に発生した「岩手県沿岸部地震」のため急遽講演が中止となったので資料により事務局から概要の説明を行った。

7月25日(金)現地研修(三種町管内)

①惣三郎ため池(ため池整備事業)角助沼(水環境整備事業)

周囲の景観・環境に溶け込んだ大変素晴らしい農村風景を醸し出している。

②ほ場整備事業で造成された転作用「ジュンサイ田」

(金岡地区担い手育成基盤整備事業)

③森岳農村歌舞伎芸術会館

(H17年度農村総合整備統括補助→現在は村づくり交付金事業)

約300年前の江戸時代中期に伝わったとされる伝統芸能「森岳歌舞伎」の舞台となる会館を見学し、その演目や衣装・道具などに纏わる説明を受けた。

「会館が新しくなって感謝している。保存会の運営は資金や後継者、その他の面で大変厳しいが、歴史ある伝統芸能を絶やしてはならないと思って懸命に頑張っている。」石塚会長(伝統芸能森岳歌舞伎保存会 敬神会)談

御苦労が多いと思いますが御奮闘をお祈り致します。(参加者)

④「J Aコンビニ」(J A秋田やまもと 三種町鹿渡 前日講演された「泉さん」の一部題材)

地元婦人部(グランママシスターズ)の支援の基、地産地消の手作り弁当、おにぎり、米粉パン等々、地元産品を直売しており、たいへん好評を得ているとのことであった。

⑤「サンドクラフト」(三種町釜谷浜)

サンドクラフトは7月26日(土)から27日(日)に開催される砂の芸術作品を鑑賞するイベントで、作品は殆ど完成しており最終仕上げ段階の作業状況等を含めて研修した。



おわりに

今回の研修会では開催地の三種町に大変お世話になりました。北林副町長さんの御挨拶のとおり「今が旬のジュンサイ、八竜メロン」を一杯食べ、お土産をたくさん買って帰りました。ありがとうございました。

当研修会の参加者は諸般の事情から一時に比べて減っておりますが、アンケート調査によると「内容が難しくなくて良かった」というのが感想のようでした。また、技術力向上や情報交換の場として今後も続けて欲しいとの意見も多く寄せられておりますので、各方面からの御意見等を参考に形態や内容に工夫を凝らし取り組んで参りますので皆様の参加をお待ち申し上げます。

平成20年度土地改良関係団体役員講習会

●主な講義内容（カリキュラム）

講義内容	講師	時間
〈メインテーマ〉 「土地改良区未収賦課金の解消」について	県農林水産部農地整備課土地改良指導班	60分
21土地改良区創造運動優良地区事例発表	過去に東北地方大賞に推薦された地区等で、管外の水土里ネット	30分
事例発表者を交えて、ディスカッション形式で実施	コーディネーター 事例発表者（管外） 管内代表 2名	30分

●日程及び開催地

管内	日程	開催場所（施設名）
鹿角・大館北秋田	11月18日（火）～19日（水）	大湯温泉「ホテル鹿角」
山本	11月17日（月）	「シャインプラザ平安閣能代」
秋田（役員）	12月2日（火）～3日（水）	秋田温泉「秋田温泉さとみ」
秋田（職員）	12月4日（木）～5日（金）	秋田温泉「秋田温泉プラザ」
由利	11月25日（火）～26日（水）	「ホテルフォレストア島海」
仙北（役員）	11月27日（木）～28日（金）	鶯宿温泉「ホテル森の風鶯宿」
仙北（職員）	11月13日（木）～14日（金）	鶯宿温泉「ホテル森の風鶯宿」
平鹿	11月21日（金）	「横手セントラルホテル」
雄勝	11月20日（木）	「湯沢グランドホテル」

平成21年度 予算確保に向けた要請活動

東北農業農村整備推進協議会

■国への提言活動

9月8日～9日の2日間、東北農業農村整備推進協議会（飯野陽一郎会長：福島県土地改良事業団体連合会会長）は、東北地方の平成21年度農業農村整備関係予算等の確保について、農林水産省や東北農政局などに対して提言活動をおこなった。



東北各県の同協議会役員などが、農林水産省や東北農政局を訪れ、東北地方が我が国の安全・安心な食料供給基地としてその役割を全うできるよう、平成21年度農業農村整備関係予算の確保など5項目からなる要望書を手渡し、農業農村整備事業の着実な推進を要請した。

また、事業推進や予算確保等に関する意見交換も行われ、各県出席者からは積極的な意見・提言がだされたが、本県からは災害関連事業並びに補償工事で施工された農業水利施設（頭首工、農業用水路）の更新をス



トックマネジメント事業で対応していただいたなどの提言が出された。

なお、主な要請内容は次のとおり。

【要請項目】

- 生産基盤である農地の確保・有効利用の推進について
 - 農地利用集積と一体的な経営体育成基盤整備事業の着実な推進
 - 担い手への農地利用集積の促進、耕作放棄地の発生防止・解消に向けた対策強化
 - 水土里情報利活用促進事業の支援強化
- 活力ある農村地域づくりの推進について
 - 農地・水・環境保全向上対策の支援強化
 - 農業水利施設ストックマネジメント事業の拡充・支援強化
 - 小規模な土地改良施設等の整備・更新・施設管理に対する支援強化
 - 基盤整備事業を進めるための地域防災・減災活動に対する支援強化
- 地域資源を活かした農村環境づくりについて
 - バイオマスの利活用推進を図るための地域水土里ネットが直接貢献できる事業制度の創設
 - 農村活性化に向けた農村と都市の共生・対流を図るための対策の推進
- 国による基幹的な農業水利施設の計画的な整備について
- 平成21年度農業農村整備関係予算の確保について

連 合 会 日 誌

8月26日	平成20年度農業農村工学会大会講演会秋田全国大会(～29日)	秋田市「秋田県立大学」
8月28日	あきた農地・水・環境保全フォーラム	秋田市
9月3日	全国土地改良事業団体連合会創立50周年記念式典及び祝賀会	東京都
9月12日	秋田県農業担い手フォーラム'08	秋田市
9月16日	大館・北秋田支部研修視察(～18日)	岐阜県・滋賀県・京都府
9月16日	新たな土地改良長期計画の策定に係る都道府県等説明会	仙台市
9月24日	農山漁村地域力発掘支援モデル事業に係る担当者会議	仙台市
9月30日	第2回東北・北海道土地連絡協議会事務責任者会議(～10/1)	札幌市
10月2日	平成20年度秋田県農村総合整備研究協議会県外視察研修(～3日)	八戸市
10月2日	全国土地改良大会第3回運営委員会	秋田市
10月2日	本会創立50周年記念式典及び祝賀会第1回実行委員会及び事務局合同会議	第1会議室
10月6日	秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会第3回担当者会議	秋田市
10月7日	松岡地区農業集落排水事業第06301号汚水処理施設(土木)工事安全祈願祭	湯沢市
10月8日	平成20年度第1回秋田県「水と緑」の協議会	秋田市
10月14日	全国土地改良事業団体連合会理事会	秋田市
10月22日	花館地区経営体育成基盤整備事業竣工式典並びに記念碑の除幕式	大仙市
10月22日	秋田県市町村等公共事業積算システム共同利用協議会平成20年度総会	秋田市

今後の予定

10月28日	六郷西部地区経営体育成基盤整備事業竣工式典、祝賀会並びに記念碑除幕式	美郷町
10月29日	平成20年度東北・北海道ブロック管理主任者会議及び管理指導事業専門指導員会議(～30日)	青森市
10月30日	第131回秋田県種苗交換会(～11/5)	にかほ市
10月30日	第131回秋田県種苗交換会新穀感謝農民並びに開会式	にかほ市「象潟体育館」
10月31日	第52回秋田県農業委員大会	にかほ市「象潟体育館」
11月5日	豊川地区経営体育成基盤整備事業除幕式、竣工式典及び祝賀会	大仙市
11月7日	本会第5回及び第6回監事会	本会第1会議室
11月11日	秋田県土地改良事業団体連合会創立50周年記念式典及び祝賀会	秋田キャッスルホテル
11月14日	全国土地改良施設管理事業推進協議会第12回通常総会	東京都
11月18日	農業農村整備の集い	東京都

会 員 だ よ り

新理事長就任のお知らせ

○ニツ井町富根土地改良区は、9月1日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 池 端 重 光

○おものがわ土地改良区は、9月11日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 渡 邊 聡 之

訂正とお詫び

前回、第454号(平成20年8月25日発行)において、「秋田県土地改良事業団体職員会第48回通常総会」(9頁に掲載)に関する表彰受賞者の所属団体名が違っておりました。関係の皆様へ、ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

(誤)小野 充(秋田県七滝土地改良区)



(正)小野 充(秋田県雄物川筋土地改良区)

第11回美しく豊かな農村づくり写真コンクール

「収穫の喜び」今野清美さん(にかほ市)が県知事賞に決定!

■入賞作品23点を選出(審査委員会を開催)

9月26日(金)、本会主催「第11回美しく豊かな農村づくり写真コンクール」の審査委員会が、本会会議室で行われた。

このコンクールは、農業農村整備の広報活動の一環として平成9年からスタートし、農業・農村の持つ被写体としての魅力や豊かな自然、生活環境への理解が一般にも広がり、今年で11回目の開催となった。

今回の応募総数は142点で、厳正な審査の結果、県知事賞(副賞5万円)には、稲刈り体験時の小学生の表情をとらえた今野清美さん(にかほ市)の「収穫の喜び」が選ばれた。また、水土里ネット会長賞(副賞3万円)に、地域行事の綱引きの様子を表現した杉本昭一さん(湯沢市)の「雪中集落対抗戦」が選ばれた。その他に優秀賞(副賞2万円)が5点、佳作(副賞5千円)が16点選出され、入賞作品が決定した。

審査委員を代表して福木幹郎さん(写真活動家)が、「農業・農村の営みや情景が感じられる作品

が数多く応募されている。結果的に人物を中心にした作品が多く選ばれたが、自然の美しさや農村の情景をとらえた風景写真としても素晴らしい作品がたくさんあり、レベルの高さが感じられる」と感想を述べられた。

優秀賞以上の方は、秋田県土地改良事業団体連合会創立50周年記念式典(11月11日：秋田キャッスルホテル)で表彰される。また、秋田県種苗交換会の協賛行事「農業農村整備フェア」(10月30日～11月5日：にかほ市の旧象潟中学校校舎)で展示するほか、農業農村整備事業の各種広報活動に幅広く活用していく予定にしている。

なお、今回の審査委員は次のとおり。

◆審査委員

- 高畑 進(水土里ネット秋田会長)
- 福木 幹郎(写真活動家)
- 川原 幸徳(秋田県農林水産部次長)
- 三浦 貞一(水土里ネット秋田専務理事)
- 水戸 憲光(水土里ネット秋田参事)

県知事賞



「収穫の喜び」 今野 清美／にかほ市

水土里ネット会長賞



「雪中集落対抗戦」 杉本 昭一／湯沢市

優 秀 賞



「我が家の宝物」
鈴木 康雄／大仙市



「田植えを終えて」 佐々木 茂／大仙市



「メロン畑の造形」 工藤 嘉正／八峰町



「あっ いるいる！」
佐藤 要／大仙市



「田植えの作業」 五十嵐清光／横手市

佳 作 (16点)

- 「咲いた！咲かせた！～初心者ファーマーの挑戦～」
鈴木 康雄／大仙市
- 「西小学校水田で」
川村 康之／湯沢市
- 「五月晴れ」
時田 健一／秋田市
- 「あっ ころんじゃった」
徳山 俊行／由利本荘市
- 「補植」
門間 栄子／秋田市
- 「(古代米)親子田植」
加藤 悦子／秋田市
- 「お参り」
中川 晋／羽後町

- 「小さなたんぼ」
高橋 信夫／羽後町
- 「山菜収穫」
高橋 信夫／羽後町
- 「共同作業」
山内 与一／秋田市
- 「棚田の作業風景」
佐藤 忠／由利本荘市
- 「白鳥の楽園」
佐藤 忠／由利本荘市
- 「楽しい泥とのふれあい」
佐藤智恵子／由利本荘市
- 「ひげ似合うでしょ！」
五十嵐清光／横手市
- 「冬支度」
渡部 善一／横手市
- 「田植えの頃2」
畑 哲二郎／横手市

詳細は、後日本会HPにてご紹介します。(http://homepage2.nifty.com/akidoren/)

支部からの
水土里通信
 秋田支部

「田の神、山の神、水の神」に祈りを

水土里レポーター：水土里ネット仁井田堰 伊藤清栄

10月14日(火)、「あすを拓く大地、きらめく疏水、たくましき郷」をテーマに秋田県立武道館で全国から3,900人の関係者が参加して第31回全国土地改良秋田大会が開催されました。

今回、併催行事の企画のひとつとして元県職員(元秋田県職員)の山入慧子さんを中心に職員会秋田支部の役員、土地連の協力を得て、昨年の秋田県土地改良事業推進大会で好評だった「農



の生け花」を展示することとなりました。

「農の生け花」は、特に流派流儀はなく、カタやトウミなどの昔の農具、地元秋田の野山にある季節の草花や木の葉、取れたて



の秋野菜などを素材とし生けられました。

普段、生け花とはまったく縁のないメンバー達でしたが、2回、3回と打ち合わせ行っていくにしたがい、草花の名前すら知らなかったメンバーがインターネットで調

べてくるなど自ら積極的に大会を盛り上げようという気運が高まってきました。

実際に展示会場では山入さんの指導の元、メンバーそれぞれが持ち寄った素材を早朝からまる一日がかりで農の生け花を完成させました。残念ながら大会当日はメンバー全員が大会スタッフとして活動していたため直接、展示会場でお客様の感想を聞くことは出来ませんでした。秋田大会に参加された方々に「農のこころ」と「癒しの空間」を提供することが出来たと思います。

最後に紙面を借りて、指導していただいた山入さん、素材や民具を提供していただいた方々と協力をいただいた関係者すべての方々に感謝申し上げます。



平成二十年十月十四日

農の生け花グループ
 秋田県土地改良事業団職員会秋田支部長
 伊藤 清栄
 副委員長
 山入 慧子
 (元秋田県職員)

第三十一回全国土地改良大会秋田大会御参加の皆様を歓迎するため、この私たちグループは「農の生け花」を展示させていただきます。

農の生け花は、流派流儀はありません。

田の神、山の神、水の神に祈りを捧げ、また先人の偉業を思い敬う心を農に、いそむ感性で農作物などを素材に各人の自由な発想でその心を生けるものであります。

農の持つ豊かさやすばらしさを感じていただければこの上なく存じます。

種苗交換会協賛行事「農業農村整備フェア」を開催します!!

秋田県の農業の祭典『第131回秋田県種苗交換会』が、10月30日～11月5日までにかほ市を会場に開催されます。期間中、本会では農業農村整備事業のPRのため県内国営事務所、秋田県と共催で協賛参考展示「農業農村整備フェア」を協賛第1会場で開催します。皆様のご来場をお待ちしております。

- ◆期間：平成20年10月30日(木)～11月5日(水) 9:00～16:00
- ◆場所：旧象潟中学校校舎（にかほ市役所象潟庁舎裏）
- ◆内容：各種パネル展示、縄ない体験コーナー、土地改良相談コーナー、カレンダー作成（無料）、その他様々な催しを企画しております。
- ◆共催：東北農政局西奥羽土地改良調査管理事務所、東北農政局平鹿平野農業水利事業所、秋田県（農地整備課・農山村振興課・由利地域振興局農林部農村整備課）、水土里ネット秋田



昨年の農業農村整備フェアの様子

秋田県土地改良事業団体連合会創立50周年記念式典及び祝賀会

■日時：11月11日(火) 14:00～

■場所：秋田キャッスルホテル 秋田市中通1-3-5 TEL.018-834-1141(代)

◇第1部【式典】
(14:00～15:30)

- ・式辞
- ・表彰状並びに感謝状贈呈
- ・来賓祝辞
- ・来賓紹介
- ・祝電披露

◇第2部【記念講演】
(15:30～16:30)

- ・記念講演
演題/「未来を支える底力～集落力～」
講師/地球人会議かごしま会長・環境教育
NPO法人くすの木自然館専務理事
浜本奈鼓さん

◇第3部【祝賀会】
(16:45～18:15)

- ・乾杯
- ・祝宴
- ・万歳三唱

10月、野に咲く花

休耕田の「コスモス」



花言葉：少女の純真、真心
コスモスは全国の35市町村でシンボルとしている。県内では大仙市（旧中仙町）

編 集 後 記

◆「全国土地改良大会秋田大会」が全国各地から約3,900名の関係者が参加し盛会に開催されました。「あすを拓く大地、きらめく疏水、たくましき郷」の大会テーマのもと、秋田から全国に向けて『大地』『疏水』『郷』を国民共有の財産として私たち水土里ネットが守り、育み、伝承していく」とした大会宣言を採択しました。秋田県では初めての開催となりましたが、参加の皆様には大会式典や事業視察を通じて、真心こもった大会を感じて頂けたことと思います。また、大会を契機に改めて農業・農村と地域の未来を担う「水・土・里」の重要性を考えて行かなければと思っています。大会の成功に向けてスタッフとしてご協力いただいた関係皆様に改めて感謝申し上げます。

(広報・渉外班◇嵯峨記)